

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

後援会総会開催

平成23年度 社会福祉法人あいのわ福祉会後援会総会

日時 平成23年6月21日(火) 午前10時30分～11時15分

場所 社会福祉法人あいのわ福祉会 足立あかしあ園3階会議室

・協議事項

第1号議案(1) 平成22年度事業報告について

(2) 平成22年度決算報告について

(3) 平成22年度監査報告について

第2号議案 平成23年度役員(案)について

第3号議案 平成23年度事業計画(案)について

第4号議案 平成23年度予算(案)について

・感謝状贈呈式

平成22年度の寄付者、団体への感謝状贈呈

平成23年度 あいのわ福祉会後援会総会が足立あかしあ園会議室において60名を超える出席者のなか、開催されました。

平成22年度報告では、個人会員の減少はあったものの、特別会員の増加があり、平成23年3月31日現在308名の会員数であることが報告されました。協議では、個人会員の継続への働きかけについて強化していく方向で確認されました。また会報誌については年6回発行し、述べ8400部配付されました。

決算報告では4,604,505円の決算額で次期に341,907円の繰越額が報告され、監査結果についても指摘事項なく承認されました。

次期の役員については、秋山会長が再任され、他の役員については、監査員について中里様から山中様に変更がありました。

平成23年度事業計画では後援会員相互の連携強化、ならびに法人事業への理解啓発に努めること。また、特別支援学校在籍の方々への働きかけを行うことが承認されました。予算総額 5,442,907円が計上され承認されました。

■後援会総会記念講演■

演題 「身近にできる災害対策」

講師 足立区災害対策課長 今井伸幸 氏

新聞などで報道されているように、首都圏において、M7クラスの直下型地震はある程度の切迫性を有することです。東京湾北部でM7.3の直下型地震が夕方18時に発生した場合の足立区の被害想定は、建物の全壊16,701棟、火災発生による消失10,675棟、死者36人、負傷者10,821人、避難所生活者195,884人等の慄然とする数値が試算されていました。

足立区の地域特性は、四方を河川に囲まれていること、標高の高低差がほとんどなく平坦地であること、地盤が軟弱な沖積層であること、また、木造家屋が多く狭隘な道が多いことなど領ける点ばかりでした。区内には29か所の広域避難場所、126か所の一次避難所、要援護者などの優先避難所である二次避難所が45か所定められており、法人本部のある足立あかしあ園も二次避難所に指定されています。

自然災害は人間の力で避けることはできません。法人としても、あらためて大震災発生時の対応の見直しが求められているところであり、災害発生時の防災対策本部の設置、各事業所の共通した対応マニュアルの見直しが進められています。考えられるあらゆる事態を想定した防災対策を確立しておくとともに、「減災」という意識を持った諸準備に心がけたいと思います。

各ご家庭においては、生き残るためにも家具類の転倒防止、いざという時の家族同士の安否確認の方法、水・食品の備蓄等についての話し合い【自助】、自治会の避難訓練などに参加するなどの孤立の防止【共助】、の大切さを痛感しました。

備えあれば憂いなし。地域のネットワークで災害に立ち向かいたいものです。



足立あかしあ園だより

今年の梅雨は例年になく早い梅雨入りでした。ジメジメだけでなく、強い雨も多くて大変ですね。健康には気をつけつつ、節電には協力していきたいと対応している足立あかしあ園です。

旅行などの行事が今年度は行われないうちで、6月24日にみんなが楽しみにしていた「昼食バイキング」をたくさんさんのボランティアさんにもご参加いただいたて楽しく行いました。

今回のテーマは「宇治原シェフ おすすめメニュー!!」ということで、普段給食を提供していただいている第一食品の宇治原さんを中心に、厨房の皆さんが腕によりをかけておいしい料理を作ってくださいました。

シチューやリゾット、ペンネなどイタリアンなメニューの数々でお腹もふつから!!「もう食べられない!」となつてからでも、おいしいデザートは別腹なのかな・・・フルーツケーキにロールケーキ、ムース オ ショコラなど見ても楽しめる魅力的なデザートがいっぱいでした。夏に向けて体重が心配になるけど、「今日だけは」とつついケーキのおかわりも・・・

今年度は施設のお祭り(ふれあいフェスティバル)がおこなえず、それに変わる行事として「復興支援バザー」

を10月に計画中です。利用者の皆さんと一緒に、少しでも被災地の方々に協力出来れば、また、地域の方々と触れ合える時間が持てればと思っていま

御協力よろしくお願い致します。

(塩田)

綾瀬あかしあ園だより

気が付けば夏の強い日差しが照りつけ、いよいよ夏本番に突入ですね。

今年は、震災の影響もあり、園でも節電対策に取り組んでいま

す。こんな方法がありますよ!!

6月から、講師を招いての音楽療法がスタートしました。

若い女性の先生に、皆さんちよつぱり照れくさそうにしながらのスタートでした。まだまだ



慣れずに寝ている方、作業や活動とは違う流れにちよつぱり戸惑っている方、始めからエンジン全開の方と反応はそれぞれですが、日常とは違う音楽を通しての楽しさや、交流を深めてい

きながら、それぞれの自己表現やアピールに繋がっていかれると思います。

日常では見られない皆さんの(職員も??)一つひとつの表情に注目の時間になりそうです。月1回という事もあり、定着するにはもう少し時間がかかりそうですが、皆さんの楽しみの時間のひとつになればと思います。

(森)

竹の塚あかしあの杜きずな(生活介護入所)だより

早いものですつかり夏らしい季節になりました。

震災の影響で節電が叫ばれるこの夏、皆様いかがお過ごしでしょうか。

きずなでは、7月7日七夕の日にバイキングが行われました。

連日の暑さでのバテなど一切感じさせず、皆さんたくさん召し上がられました。

食事後には、みんなで七夕飾りを作り、短冊を書き、笹を華やかに飾りました。

短冊に書かれたお願い事には『○○さんと結婚できますように』なんてものも・・・

また、今年度から始まったグループ活動では、みんなでコーヒーシヨップへ出かけるグループ、自分たちで紙芝居を作り、お隣の施設で披露しようとするグループ、自分たちの飲みたいもの、食べたいものを持ち寄りピクニックに出かけるグループなど、すでに各グループで異なった取り組みをしており、今後、どのグループがどのような活動をしていくのか楽しみです。

話は変わりますが、竹の塚あかしあの杜、6月の代名詞である『杜祭』が中止になってしまいました。7月末日にその代わり的大イベント『東北支援チャリティー大作戦』が開催されることになりました。

その中で、被災地施設による出店や、被災地の物産品、B級グルメなどの出店も行います。

当日、皆様のご来園、心よりお待ちしております。

(高橋)

竹の塚あかしあの杜のぞみ(生活介護通所)だより

いよいよ夏到来ですが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

先日、大学生ばかりが集まるジャズコンサートに行ってきました。

その中でトランペットを吹いていた学生が、「僕は今、福島原発がある有名な街が故郷です。友人も浜通り、いわきの出身が大勢いますが、何度メ

ールをしても、いまだに返事は来ません。

何年かして世の中が落ち着いたら、やあとやって会いにきてくれる日を待っているです。」と言っていた。・・・「あゝ人生長いのに、こんな若い子が辛い思いをしたね」と思わず涙した屋下がりでした。

そんなつめ跡を残す今回の地震で

世の中自粛ムードの中ですが、竹の塚あかしあの杜「のぞみ」では足立区限定の小外出を行います。

そして、7月31日に被災地へ少しでも元気を送るため、「東北支援チャリティ大作戦」を開きます。被災地の野菜などを大量買いし販売します。

その時に、日ごろ頑張って作成している陶芸製品、ミサンガ、ボンボンなども販売する予定です。

個人で出来る事は限られているから、同じ志をもつ人々とつながりながら、応援して行く。

そんな仲間が「のぞみ」です。(森)



大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

毎年2月前

後になると

「(財)日本障害者リハビリテーション協会研修課」様からの依頼で、1〜2名の海外研修生を受け入れてい



ます。これは、広げよう愛の輪運動基金「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」の一環で、第2期生(2000年)から継続して受け入れを行っています。個々人の研修目的があり、センターにはパソコン研修(Word・Excel・PowerPoint・ホームページ作成等)を希望される研修生が来ています。

9月来日後から3か月間の日本語研修を受け、コミュニケーションが取れるくらいの日本語が話せるようになっていきます(日本手話も同様)。今年は、ベトナム(ハノイ)からの研修生1名、グウェン・ガップ・アン(愛称:アン)さんが1月末日から2月初旬の2週間、研修に入りました。日本語も上手で、普段私たちが使わない言葉も知っていることには、毎年のように驚かされています(標準語・関西弁な

ど)。

初日からの3日間位は、Word・Excel・PowerPointの基本的な使い方の研修を行い、4日目以降は、ホームページ作成のソフト(ホームページ・ビルダー)の使い方やそれに伴う機能などの教習をしました。

それらを踏まえ、コンテンツからページレイアウト・色遣い等を思案し試行錯誤しながら自分のホームページを作り上げました。

日本での全研修が終わり、7月4日(月)に大阪で成果発表会・終了式に出席してきました。

この事業を実施しているダスキン本社からも来席があり、盛大な終了式でした。そこ

での発表を聞き感じたことは、他国から見ると日本は恵まれている国ということ



日本の障害者、特に重度障害者は、その気になれば好きな所に行ける、学べる環境がある、衣食住も整っ

ています。

まだまだアジアの一部では、人種差別・障害者差別・バリアフリー等が整っていません。研修生の中には、小学校を卒業してから家での生活や勉強・引きこもりがちになり社会との接点が無いという状況で、異国での生活・研修は想像を超える大変なことと思えました。

研修課長様のまとめの中にもあったように、「みんな強くなった」「個々の研修のみならず、互いに協力し助け合い成長した」などを聞きながら、来賓の方々も来日当初のことを振り返りすすり泣きが漏れるほどでした。今までの研修生の中で一番の良い評価でした。

涙!涙!の成果発表会。研修生の皆さん、感動!!をありがとう!!ございました。

私も皆さんに負けず日々努力をして行こうと、気持を新たにしています。

(利用者 高橋)

神明福祉園だより

新年度が始まり3か月が経ちました。新しく入られた3名の利用者の方達も少しずつ園での生活に慣れてきています。

今年度も恒例行事のファミリーレクリエーションが、6月2日(木)に行

われました。毎年近隣の佐野セリター体育館をお借りしていましたが、全員での移動がともなうこともあり、万一、災害が起きた場合の安全を優先し、今回は規模を縮小させて行うこととなりました。総勢 70 名が福祉園のホールに集まり、全員で「じゃんけんパン食い競争」を楽しみました。主役のパンは佐野にありますベーカーリーボンボンさんに注文し、あんぱん、クリーム、ジャム、チョココネなど色々な種類のパンを用意して頂きました。「じゃんけんマン1号、2号(誰でしょうか?)」がさつそうと登場、マントに怪しげかつら姿は場内をわかせました。「通さないぞ」「おれはグーしか出さないぞ」



ぞ」さあ! じゃんけん! 勝たないとパンがとれません。

参加者全員が次々とじゃんけんに挑み、会場は気迫と歓声、笑顔に包まれました。あつという間に時間が過ぎ、ご家族から「今日は体調がいまひとつでしたが、来てみて元気になりました」と感想を頂きました。また、ある利用者さんが「パン食い楽しかったね」とつぶやく姿もあり、嬉しく、ほっとした気持ちになりました。行事が自粛傾向にある中、レクを通じて仲間、家族との交流の機会がもてたこと、笑顔あふれるひと時を過ごせたことに本当に感謝したいと思います。ご協力有難うございました。

（永池）

神明デイサービスセンター だより

梅雨が明けるとともに暑い日が続きますが、皆様の体調管理はいかがですか?

さて、神明デイサービスでは新たな試みとして、足立中央本町地域学習センターのサークル「足立相撲甚句の会」の皆様、普段なかなか聞く事の出来ない「相撲甚句」を披露してい



ただきました。デイサービスの利用者さんだけではなく、福祉作業所・福祉園の利用者さんや職員にも声をかけ、一緒に参加してもらいました。

「どすこい! どすこい!」の掛け声も楽しく、予定時間をオーバーしての熱のこもった相撲甚句に皆さん酔いしれていらつしやうたようでした。

今回だけではなく、いろいろな形で外部の方々と交流できたらと思っています。

また、6月には恒例のしょうぶ沼散策に出掛けています。

毎年雨に降られる曜日があるのですが、今年は一週間を通してまずまずのお天気で、しょうぶも丁度良い見頃だったと思います。すべての日程に参加していただいた



ボランティアの神田橋さん、ありがとうございました。

新しく外出活動に参加していただいたボランティアさんとともに、無事楽しく花を愛でる事ができました。

これからますます暑い日が続きますが、7月からは各曜日の活動として、亀有アリオランチ外出を予定しております。センターでは見る事のできない(??)普段の様子が見えると昨年好評でしたので今年も企画しました。どうぞお楽しみに!!

4月から新しい体制になり、右往左往する中、利用者の皆様には御不便・御迷惑をお掛けしていると思います。写真の通り職員一丸となって皆様の活動のお手伝いができればと張り切っています。

暑さに負けず頑張っていきたいと思います。

神明福祉作業所だより

今年度からグループの新しい試みとして、1年間を通して企画行事を行います。

第一弾として6月3日に利用者全員でしょうぶ沼公園へ散歩に行きました。

ちょうど見頃のしょうぶの花を見ながらお茶タイム&クイズ大会と盛り上がりしました。

あおぞらグループは作業の合間に気分転換を目的としたレクリエーション活動(カラオケ・DVD鑑賞・運動・散歩)を行っています。

作業と違った環境を取り入れ、皆のモチベーションを高めて次の作業も頑張っていきたいと思います。

このような活動や作業にはたくさんボランティアに来ていただいています。皆様いつもありがとうございます。(小野澤)

グループホームオハナだより

7月に入り、暑い日が続いておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか？

日差しも強く、暑い毎日…。節電をしなくてはいけない！と思いつつも利用者の皆さんの健康を考えると難しいことです。

でも、東北地方の方々のご苦勞を思



うと、私達も何かをしていかななくてはと思うのですが…。できることから始めていこうと思います。

さて、最近のオハナのメンバーは暑さにも負けずこれまで以上にパワフル！一人一人、個性豊かに過ごしております。

メンバーの一人は嵐のライブDVDにどつぷりはまっており、別のメンバーは、歌舞伎の「ならみ」を習得し、みんなに披露したり、あるメンバーは食に走ったり、あるメンバーは夏休みをとって旅行に出かける計画を立てたり…。とみんな、個性を存分に発揮して、生活しております。

ただ、先月は風邪をひいてしまった利用者もおり心配しましたが、今月は7人が元気にそろい、にぎやかな毎日です。

また、先月、6月27日には6月生まれの利用者さんのお誕生日会をしました。

支援者だけで



なくみんなと一緒に誕生日の夕食メニューやお祝いの出し物を考えたり、飾りつけ案を出し合ったり、みんなで計画を立てました。

当日は、手作りの美味しい料理やケーキに囲まれながら、大盛り上がりでした。

7人が揃い、みんなで過ごす時間はいつも以上に笑顔と笑い声で絶えず楽しいひと時となりました。

さらに、この7月から、オハナでも入居者の方が訪問リハを週1回、導入しました。利用者一人一人の筋緊張の緩和と機能の維持・向上をはかり、心地よい生活が送れるようになればと考えています。

暑さ対策が難しい今日この頃ですが、暑さに負けない体づくりをして、心豊かな毎日を過ごしていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願いします。

(永山)

あいのわ支援センターだより

沖縄、九州地方が梅雨明けをし、関東地方も夏日が続く、ご利用者様も職員も暑さにバテそうです。

6月からショートステイも始まり、前より一層賑やかにになっている谷中ハウスです。

ショートが始まるまではハウスの仲

間だけの生活でしたが、ショートの利用が始まり、当初は、みなさん緊張気味の様子でしたが、連泊をする方、再度利用する方、通所先と一緒に活動をしている仲間などがショートを利用する度に、少しずつ緊張もほぐれていき、今では「今度いつ泊まりに来るの？」などの声も聞かれます。

また、児童のショートステイ利用もあり、かわいい児童のみなさんに、ハウスの利用者さんも自然と笑みがこぼれています。

日々、入退居があり、落ち着かない環境もありますが、皆様に喜んで頂けるよう職員一同ご利用者をサポートしながら、おもてなしをしていきたいと思っています。

まだまだ、始まったばかりのショートステイですが、今後も多くの方がご利用して頂けるように願っています。まだ、ベットにも空きがございます。

お泊まりをご希望の方は、どしどしご連絡下さい。

最後に、暑い陽気で汗をかいた体を入浴サービスでさっぱりとしませんか？

クールでリラックスできる入浴剤をご用意してお待ちしております。

(吉見)

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

草の実の 運ぶ三つ四つ 畳まで
蜘蛛の罫の 雨滴とどめし 撓みかな
幾度も 避暑に行く日を 訊く子かな
細川悦子
細川悦子
秋山啓司

この一句

「木の枝の 瓦にさはる 暑さかな」 芥川龍之介

長野県小布施村はきれいな小川が流れ、木立の生い茂った緑濃い村だ。戦時中、この村に縁故疎開した。質素な物置き小屋の二階だ。冬には布団を干した屋根も、真夏の太陽の直射熱では想像以上に灼けていた。第二のふる里、小布施村は、辛いこともあったが楽しく美しい思い出の多い村だった。（秋山）

後援会だより

（平成23年5月～6月）敬称略、順不同

◆特別会員（1口、1万円）

秋山啓司、小金井寛（2口）、山野正雄、石鍋一郎、峯岸茂隆
神代和幸、石鍋元章、佐々木継男（3口）、大井勉

肥後留太郎、白鷗ライオンズクラブ会長 村松信一
足立成和信用金庫青井支店長 大窪豊

谷在家福祉園家族会（5口）、神明福祉園父母の会（20口）
神明福祉作業所保護者会（5口）

◆団体会員（1口 5千円）

加平町会（2口）、青井4丁目住宅自治会、青井4丁目第5自治会
（株）泰成工業所、（株）光和エンジニアリング、（株）ソーリン

◆個人会員（1口 3千円～5千円）

森田イクエ、谷古宇彰、秋山智子、今井澄子、渡辺杏子、金成常子
堀江日出子、田林恵子、下川薫、大野守幸、西野和彦、西村文雄
山田智恵子、小原光男、西野勇雄、赤羽敬司、羽子田はるみ、長島広侖
鈴木秀夫、大谷田就労支援センター保護者有志（6口）

◆寄付者

秋山啓司、渡辺和彦

◆物品寄付者

田林恵子（手作り品 根付）

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

例年ならばこの時期、法人ニュースは各施設祭の報告や準備の話が多い紙面ですが、今年は節電、外出・災害時の対応・対策等を考えて例年通りの施設祭や宿泊を中止することになりました。それでも東北支援や利用者さん達の作品展示・販売の機会を作りたいという思いが多く、施設祭や宿泊に変わる今年なりの取り組みが、施設ごとに考えられているようです。

そんな中ですが、父母の会・法人共催の定期バザーは例年通り、9月25日（日）に開催することになりました。『地域支援から見つけよう、自分らしい暮らし方』をスローガンに、収益の一部は東北支援の義援金に当てられるそうです。今年に限らず来年も、その先も長年取り組んできたバザーを通して被災された障がい者やご家族、施設へ、私たちの思いが少しでも届けられたいと思います。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

これからが夏本番です。障がい福祉課から熱中症に関するプリントが配布されましたが、熱中症は予防が大切です。節電にも取り組まなければいけない時期ですが、体温調節がうまくできない方も多いかと思ひますので、無理のないよう注意深く見守っていただきながら暑い夏を元気に乗り切りましょう。

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成23年5月～6月）

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	301名	内児童	44名
延べ利用日数	301泊	内児童	44泊

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで